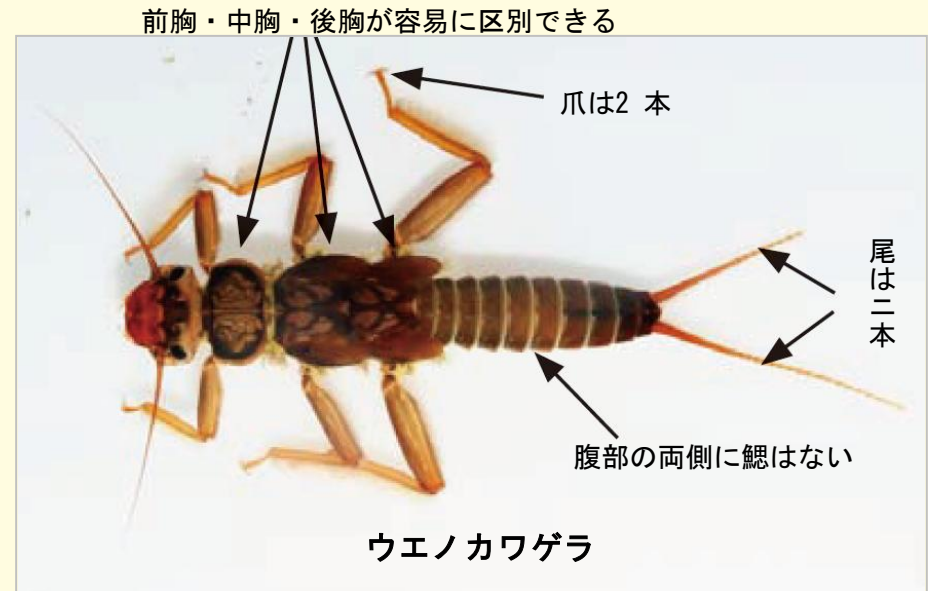


カワゲラ目

幼虫はカゲロウに似ていますが、尾は常に2本で腹部の両側に鰓（えら）はありません。鰓は胸や腹端に房状や指状のものがある場合がありますが、鰓をもっていない種もあります。また、肉眼で前胸・中胸・後胸の区別が容易にできます。

カワゲラ目の種は汚濁に弱い種が多く、この仲間が見つかった川は大変きれいな川だと考えることができます。

また、春から初夏に羽化する種が多く、夏休み前後には一部の種しか見つかりません。



ヒロムネカワゲラ科（カワゲラ目）

体が太短いのが特徴です。河川上流部の飛沫のかかる岩の上などに生息しています。年1回の発生で春から初夏に羽化するので夏季にはほとんど見つかりません。



アミメカワゲラ科（カワゲラ目）

カワゲラ科によく似ていますが、鰓（えら）は無いが指状の短い鰓があるのみで、房状の鰓はありません。
多くの種を含んでいるものと思われますが詳しくはわかっていません。大部分の種は年1回の発生で春から初夏に羽化するので夏季にはほとんど見つかりません。

体が太短いのが特徴です。河川上流部の飛沫のかかる岩の上などに生息しています。年1回の発生で春から初夏に羽化するので夏季にはほとんど見つかりません。



ヒメカワゲラ属の一種



ヒロバネアミメカワゲラ

カワゲラ科（カワゲラ目）

私の昆虫図鑑 Index NO. 1530_00
カミムラカワゲラ

大型で胸部に房状の鰓があります。春から初夏に羽化する種が多いのですが、2年以上河川中で幼虫期間を過ごす種も多く、夏季にも見つけることができます。しかし、夏季には若齢の小型個体が多いようです。

オオヤマカワゲラ



同様な斑紋をした大型のカワゲラは他にも数種生息しています。

コナガカワゲラ属の一種



全体が一樣な光沢のある赤褐色をしています。

オオクラカケカワゲラ



同様な斑紋をした大型のカワゲラは他にも数種生息しています。



夏季によく見られる小型個体は斑紋が不鮮明です。

カワゲラ科小型個体

ミドリカワゲラ科（カワゲラ目）

私の昆虫図鑑 Index NO. 1529_00

上中流部の流れの緩やかな場所に生息しています。本科は幼虫では科以下の分類は困難です。他の小型のカワゲラ類と比べると、翅芽（しが）が丸みを帯びており、体はより平坦で尾が太短いのが特徴です。



クロカワゲラ科（カワゲラ目）

上流部に生息しています。オナシカワゲラ科に似ていますが、翅芽が外側に広がらず、ほぼ並行に後方に伸びていることで区別可能です。



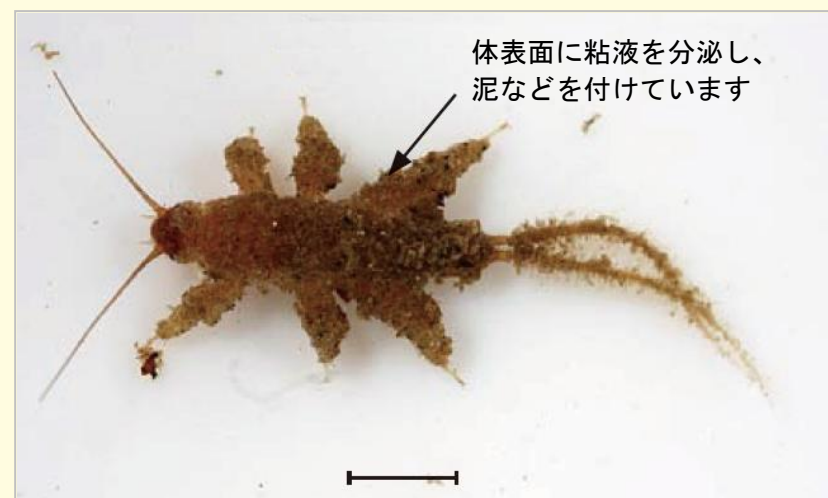
オナシカワゲラ科（カワゲラ目）

私の昆虫図鑑 Index NO. 1528_00

小型の種類で、後翅の翅芽は外側に向かって広がっていますが、小さな幼虫では不明瞭です。体にゴミ（泥）をつけた個体もよく見つかります。生活史等について詳しいことはほとんどわかっていませんが、年複数回羽化する種もあり、ほぼ一年中幼虫は見られます。



ユビオナシカワゲラ属の一種



フサオナシカワゲラ属の一種

フタツメカワゲラ科（カワゲラ目）

私の昆虫図鑑 Index NO. 1532_00

黄褐色で体や脚の一部が黒褐色。単眼は2個。溪流で見られる。（昆虫探検図鑑1600）

淡黄褐色で、複眼の間に黒紋があるカワゲラ。山地の溪流付近で見られ、灯火にもよく飛来する。幼虫は、溪流の石の下で見つかる。（昆虫エクスプローラ）



フタツメカワゲラ属の一種

三重県名張市赤目（2003. 5. 4）昆虫エクスプローラ